

高校ラグビー 7人制全国大会 土佐塾ベスト8

ラグビーの全国高校7人制大会最終日は21日、長野県上田市の菅平高原スポーツランドで行われ、本県代表の土佐塾は、予選1位チームの集まるカップトーナメント1回戦で本郷（東京）を26―19で破り、8強進出を果たした。準々決勝で

は報徳学園に0―22で敗れた。東福岡（福岡）が優勝した。
（25面に関連記事）

土佐塾は、本郷戦では前半から押し気味に試合を進め、前半を12―5で折り返し、後半も14―14として逃げ切った。準々決勝では報徳学園のパワーとスピードに苦戦。前半15点、後半7点を奪われ、得点できなかつた。

裏側に出したキックを自ら拾い、半山につないで先制。その後、新階もトライを決めて、前半12―5とリードして折り返した。後半もエンジンのかかった本郷と14―14と互角に渡り合う。仕掛けを我慢してボールを回した攻撃が奏功。パスのスキルはむしろ上回っていたようだった。
ただ、準々決勝の報徳学園戦では、得点を挙げられず。スピード、パワ

全国へ手応え

○…堂々の8強進出を果たした土佐塾。カップトーナメント1回戦では、東京代表の本郷を破る殊勲の勝ち星を挙げ、西村監督は「よくパスがつながったと思う」と納得の様子。
その本郷戦。前半、金崎が相手ディフェンスの

報徳学園 22―7 15―0 土佐塾
御所実（奈良） 26―19 報徳学園
東福岡（福岡） 26―5 東海大仰（大 阪）
東福岡 26―12 御所実

「とも差があつたようだ。西村監督は「上位を崩すのは難しかったが、やってきたことは出せた。練習してチーム力を上げたい」。冬の全国大会へ手応えはつかんだようだった。